

PCW工法〈自立パネル+軽量盛土工〉

NETIS掲載終了
SK-090007-A

PCW 工法とは・・・

現道あるいは現地形を極力、掘削する事なく盛土構造物を構築するものです。特に斜面上や軟弱地盤上で効果的かつ経済的な工法で、斜面の覆工としても有効です。

使用する外壁パネルは自立性が高く、連結方法を改良した事で高所での作業をより安全、経済的なものとし、裏込材は気泡混合盛土とする事で、迅速な施工を可能としました。

●特長

1. 斜面での盛土構造物が経済的に施工できる。
2. 壁面は剛性が高く、グラウンドアンカーの受圧板としても適用可能(アンカー)。
3. 基礎底面幅が W=1m 程度で、施工可能。
4. 背面の掘削は最小限、既設構造物は撤去しないで施工可能。
5. 災害復旧工事では早期復旧が可能(工期が早い)。

●用途

道路での用途

- ・斜面での道路構築工事と路幅拡幅工事
- ・道路災害での急速復旧工事
- ・護岸工事と道路工事を併用したい工事
- ・歩道の拡幅(交通安全対策工)

砂斜面の落石防止・崩壊防止での用途

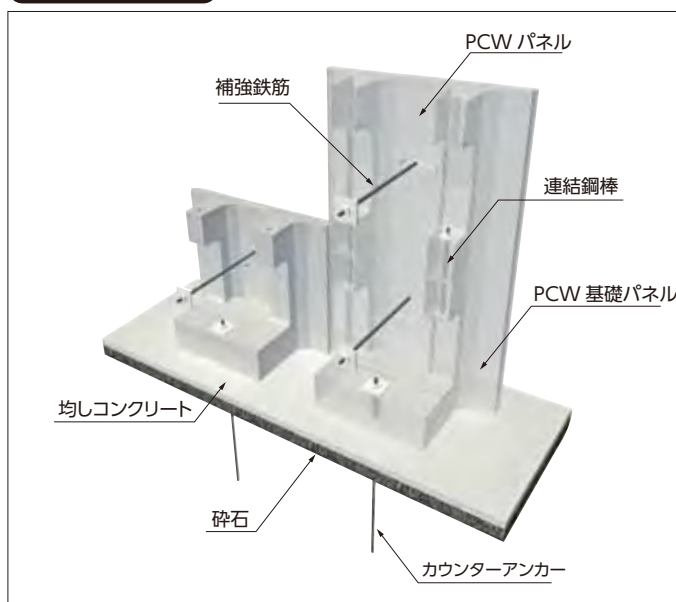
- ・落石防止と崩壊防止が同時に必要な急傾斜地

老朽化した橋梁

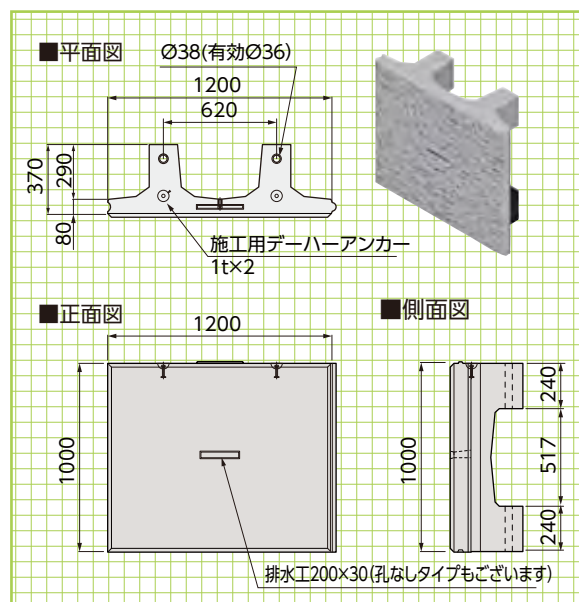
- ・老朽化した橋梁を共用しながら再生する
- ・橋梁から耐久性が高く、メンテナンスフリーの盛土構造物への再生



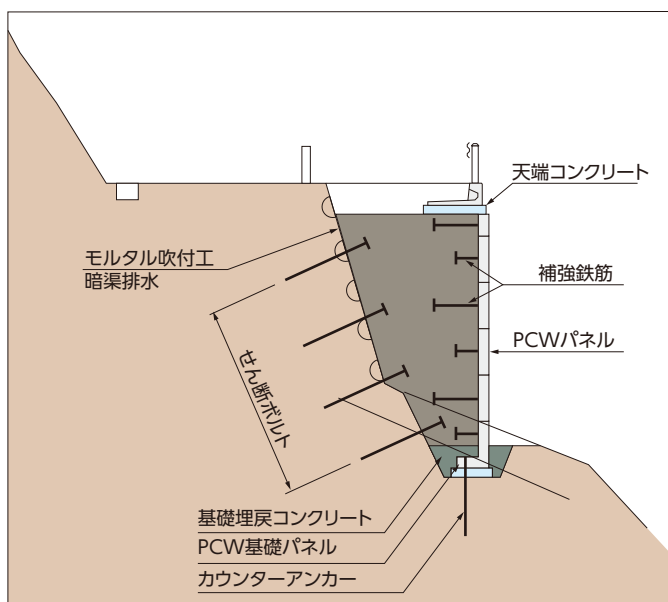
外壁基本構造図



標準PCWパネル 参考重量:440kg



参考施工断面図



基本形状図

形状・寸法
重量表